

いつかJICAがいなくなる日を！

開発途上国の方々がJICAを不要とする日を、JICAは目指しています。◆途上国が「一人で自転車に乗れる」ようになるために、「ずっと後ろの荷台を支え続ける」のではない、「補助輪を外す」支援を続けています。

◆ロックバンド・U2のボノ氏は言う。「もっと日本から学ぶべきだ、アジアでの成功があるんだから。日本のインフラ援助はセクシー」。◆貧困対策には、産業を興し、投資を誘致して雇用と財政収入を増やしていく、といった道のりが重要。◆日本の方針に共感するベトナムは、かつて世界銀行など援助側から「PRSP(貧困削減戦略文書)」の作成を求められた際に、「単なるPRSPではなく、重要なGrowth(成長)を強調すべく、Gを入れて、PRGS(貧困削減成長戦略)とする」と主張した。

◆日本の援助思想の根幹は「自助努力支援」「施し」や「慈善」はかえって自助努力を損ねる恐れもある。◆成長のため、大規模な道路などの「ハコモノ」事業も不可欠。自助努力の真剣さを増幅させる、「返済」という仕組み、「借款」というやり方も有効。◆「ハコモノ」事業をきちんとすることで、途上国側は計画・実施・監理などの能力も高められる。そこに、新JICAならではの協力、専門家派遣などの技術協力やボランティアの活用も組み合わせられる。こういった考え方ややり方は日本ならではの独特なもの。

◆「いやあ、日本って国は捨てたもんじゃないじゃないか」。よくぞう思います。こうやって、資源も食料もマーケットも国内だけでは足りない日本が、憲法前文の「国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ」との思いを実現させているのです。途上国の自立とともに。

広報室報道課長 坂本威午

本誌へのご意見・ご感想や  
JICAへのご質問を  
お寄せください。

プレゼント  
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報は統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2009年10月15日

Email: jica@idj.co.jp  
FAX: 03-3582-5745 (『JICA's World』編集部宛)

- ① ザンジバルMIXスパイス
- ② 『イラクで私は泣いて笑う』(p30参照)
- ③ 『ガザの八百屋は今日もからっぽ』(p30参照)
- ④ 『平和構築』(p30参照)

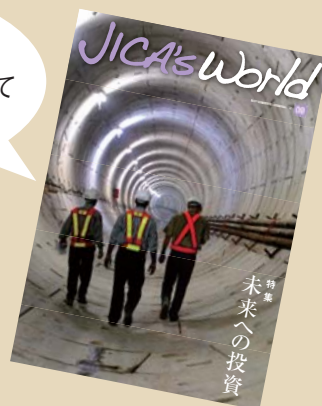


本誌をご希望の場合は  
送料ご負担(200円)にて  
お送りいたします。

申込方法

氏名・住所・電話番号・ご希望の号数もしくは送付期間を明記の上、下記にお申し込みください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 業務部(発送代行)  
住所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル  
TEL 03-3584-2191  
FAX 03-3582-5745  
Email order@idj.co.jp  
支払方法 「ゆうメール」の着払いとなりますので、  
本誌と引き替えに200円をお支払いください。



次号予告 (2009年10月1日発行予定)

ニッポンで学ぶ

開発途上国の人々が日本社会で体験的に学ぶ  
研修事業について紹介します。

JICA's World

SEPTEMBER 2009 No.12

編集・発行/独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency : JICA

〒151-8558 東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿メインスタワー内  
TEL : 03-5352-5433 FAX : 03-5352-5032 URL : http://www.jica.go.jp/

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。

■移転のお知らせ

JICAは、9月24日(木)から新本部にて  
業務を開始します。

<新本部所在地>

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25  
二番町センタービル 1~6階  
TEL:03-5226-6660~6663(代表)